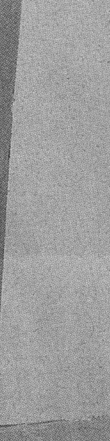


インシガキラボで開発された商品を試食する
子どもたち 11日午後、インシガキラボ内

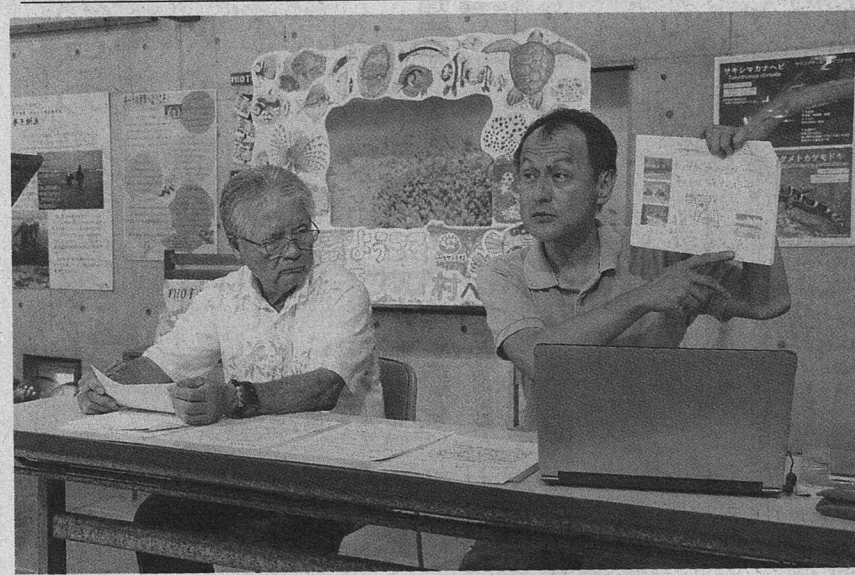
開所式でテープにはさみを入れる関係者
11日午後、インシガキラボ玄関前



津波避難ビル指定へ動き

白保リゾート ホテル建設 問題連絡協が指摘

（株）建ハウジング（那覇市、眞保榮代表取締役）による石垣市白保でのリゾートホテル建設計画で、ホテル棟を石垣市の津波避難ビルに指定させる動きがあることが分かった。13日午後、建設に反対する白保リゾートホテル問題連絡協議会（山城吉博会長）が会見で明らかにした。また、高さが当初計画の約17メートルから23メートルに変更されていると指摘。同会渉外担当の柳田裕行氏は「高さの規制逃れだ。市民の景観利益を侵害し、地域の観光業に悪影響を与えないように県知事と市長宛てに要望書を提出した」と適正な対応を求めた。



白保で計画されているホテル棟が、石垣市の津波避難ビル指定に適していないと主張する白保リゾートホテル問題連絡協議会=13日午後、白保サンゴ村

高さ13メートルを超える場合、市一く必要がある。新築時の景観形成審議会の意見を聞 観形成基準では、防災の観点から避難ビル指定については、周辺と調和を図るよう工夫すると、高さが基準値を超えないように対応して可能な限り認める、としている。その際、市と津波避難ビルに関する協定締結が必要。市防災危機管理室によると協定の条件に▽24時間立入が可能▽5階建て以上▽SRC、RC造で1981年以降の建物▽の規定を設けている。

柳田氏は「津波避難ビル指定がいけないわけではない」と前置きした上で、集落からホテル建設予定地までの距離や周辺景観との調和が取れていないことを挙げ「立地も含め津波避難ビル指定に適さないのでは」と主張。「景観形成基準の高さ制限の例外扱いを利用されないよう、石垣市には法にのっとり決定を出してもらいたい」と述べた。

指定にあたっては県と市の協議が必要のため、県にも要望書を発送している。

課の察る 担並 種

2019. 5. 14
八重山毎日



強化合宿中に市役所を訪問したショートトラックスピードスケート全日本チームのメンバーら=13日午後、庁議室

大浜 職員

石垣海上保大浜小学校で、心肺蘇生式除細動器（AED）の使い方などを指学んだ。

同保安部の三角達也、宮が講師を務めで海に行かせの危険な生物たときの対応に流されなどを説明し、安谷屋氏は力を確保した、溺れた人た、溺れた人不用意に飛びの人に助けを安庁の緊急連絡してはしび掛けた。

心肺蘇生で人形とAEDの確認や胸骨

長は「冬のスポーツはなかなか島の環境で鍛と歓迎した。」